

## 令和4年度 第2回検討会結果概要

### 総合政策局技術政策課

- 国土交通省では、運輸分野における水素・燃料電池等の更なる利活用の拡大、利便性の向上等を目指して、官民が情報を把握・共有し、技術的課題を整理していくとともに、具体的な解決策等を検討するための官民プラットフォームとして、令和4年度第2回「運輸分野における水素・燃料電池等の利活用の拡大を目指した技術検討会」を令和5年2月1日に開催した。
  
- 議事では、まず、事務局より水素、燃料電池等の利活用の拡大にかかる課題の整理及び当該課題への取組みについて説明、モビリティ保安基準の考え方のとりまとめに向けた項目の整理について報告した。モビリティ保安基準の考え方のとりまとめに向けた項目の整理については、主に出席者から次のような意見が出された。
  - ・モビリティごとの適当な基準の検討を、できるだけ自動車用の容器の基準に合わせる方向で検討いただきたい。
  - ・水素タンクの試験研究に係るコスト等について共通化できるとよいと考える。
  - ・自動車用の容器に対する国際基準であるGTR 13はフェーズ2として令和5年6月に改定されるため、この検討会で行うスタートポイントとしてGTRフェーズ2をできるだけ取り込む方がよい。
  - ・耐用年数においても今後検討いただきたい。
  
- その後、事務局より国際動向及び技術検討調査の進捗状況について説明、中間とりまとめ骨子（案）について報告した。
  
- その他意見交換では、次のような意見が民間側出席者から出された。
  - ・なるべく共通化できるところは共通化していかないと競争力として成立しないところを課題視していただけているため、やるべきことは大体見えてきていると思っている。